

情報公開文書

研究課題名	本邦における COVID-19 感染患者治療の疫学的調査
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 広島大学 )
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>広島大学大学院医系科学研究科</u> <u>救急集中治療医学</u> 氏名 <u>志馬 伸朗</u> 当 院 所属 <u>第二呼吸器内科</u> 氏名 <u>倉石 博</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ～ 2026 年 3 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 2019 年 12 月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型ウイルスによる肺炎の集団発生が報告されました。このウイルスは新型コロナウイルスとして、COVID-19 と称されています。COVID-19 による感染は世界的に流行し、WHO では 2020 年 1 月 30 日に緊急事態宣言を行い、3 月 11 日にはパンデミックの宣言を行いました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、3 月 24 日時点で感染者数は 30 万人、死亡者数は 14000 人を超え、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。一方、本邦では 1 月 16 日に初めて患者が報告され、2 月 1 日に指定感染症に指定されました。現在(3 月 24 日時点)、本邦での COVID-19 感染が確認された患者は 1000 人を超え、死亡者数は 40 人を超えています。 この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後の COVID-19 感染症治療の確立には急務です。 本研究は、本邦における COVID-19 感染症にかかる臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的としております。また、本研究は、全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自の疫学的評価を行うことを目的としています。  (研究方法) 本研究は、当院を含め全国の多施設から提供を受けた診療録からの情報を用いて、専ら集計や、簡単な統計処理を行う研究です。
試料・情報	(試料・情報の項目) COVID-19 感染患者の年齢・性別・基礎疾患などの背景、COVID-19 治療に関するデータ等
研究対象者	2020 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に、日本国内で COVID-19 による感染を発症し当院を受診した患者。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。

個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>呼吸器内科</u> 氏名 <u>倉石 博</u>  TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439